



# あおぞら

株式会社 サンメンテナス

2016年 2月1日 第113号

〒263-0012  
千葉市稲毛区萩台632-40  
TEL 043-290-8778  
FAX 043-290-8779  
発行者 木村伊佐

## 節分会

お正月からひと月が過ぎました。今日2月3日(水)は節分の日です。ひと昔前、節分の日には玄關から全ての出入り口と部屋に「鬼は外、福は内」と言いながら豆をまいて数え年の数の豆を食べたものでした。近年、豆まきの風習は減り、「恵方巻き」が節分商戦となっており、その市場規模は540億円にもなるそうです。ひこうせんの節分は新しい時代のブームを取り入れながら「豆まき」と「恵方巻き」を2部に分けて行うようになりまし

た。第1部恵方巻きです。往診日と重なった今日はフロア別でスタート、まずは2階から、七福神に因み7種類の具材を入れて福を巻き込みます。「巻きながらこっそり食べる」新しいスタイルを発見しました。次は1階、レディスフロアとはいえ、なかなか豪快な巻きっぷりです。手前ならぬ「逆巻き」の手法が開発され驚きました。みんな揃って今年の恵方「南南東」に向かい丸かぶり、災厄を祓い1年の幸運をお祈りしました。



## 節分会 第二部

今年の豆まきでは鬼衣装も新調し、鬼役も増員されたりリニューアル豆まき会です。予想より遙かにかわいい鬼の登場に、鬼退治忘れ大喜び「鬼にトライアットコーナーも急きょ設けられ三人の方が赤おに・青おになつてくれました。大歓声の握手攻めに合った鬼さん達は一瞬にしてひこうせんのアイドルになっていました。



## いちご狩り・ドラゴンファーム

1月28日(木)早春の味覚・いちご狩りに行ってきました。今日のいちご園は若葉区小倉町の「ドラゴンファーム」です。高設栽培のいちごは車いすの高さから摘み取ることが出来ます。今日は8名の皆様と一緒に

に一足早い春を楽しんできました。いちご園のビニールハウスの中はみつばちが飛び交い春の陽気です。ずらりと並んだレーンには20種類の苺の名前が書いてあり、お馴染みの品種から白いちごの新種も並んでいました。気合いを入れた私達は真っ赤に熟した苺を探しに一斉にレーンに分かれ「ここが甘い、旨い」と葉っぱの間から隣のレーンと実況中継、全レーンを制覇したチームもあれば「まずは収穫」とひたすら摘み取り、いちご山を作っているチームもありました。お腹一杯にして春を満喫してきました。

## 白鳥飛来地を訪ねて



大寒の厳しい寒さが身にしみる季節となりました。今日1月26日(火)は白鳥飛来地、印西市の白鳥の郷に行ってきました。冬の風物詩となったこのお出かけ、白鳥の飛来数や生体、当日の天気や時間によって毎年変化がある為、いつも不安とドキドキで出かけて行きます。「今日は千羽」の社長リサーチを頼りに水田に行くと、水の張った水田にはゼロ、二番穂の残る田んぼに体を丸めて寝ている白鳥たちがたくさん生息していました。「白鳥が踊るのかい？」とワクワク気分が来たのに、バレーナのように大空を舞う白鳥を真似て心待ちしていたのに：想像と違うその様子に大ブーイングが起きました。困った私達は急きょファミレスに寄り、あんみつを食べる皆様の笑顔を取り戻し帰途につきました。

## 平成27年度第5回運営推進会議

1月21日(木)今年初めての運営推進会議が開催されました。本日のテーマは「高齢者と薬 認知症治療薬について」という内容で「高齢期の体の変化」「薬が体に効く仕組み」「薬の副作用と副作用」「ホームで服用中の薬の種類」「認知症治療薬・ホームの服薬状況とその経過」についてお話をさせていただきました。

12月のクリスマスパーティーからはやけ月、ご家族の皆様も顔馴染みとなり、和やかな雰囲気の中で挨拶が交わされています。お忙しい中お集まりいただきました4名のご家族の皆様、あんしんケアセンター・渡邊様ありがとうございました。六川神社初詣 一月四日(月)松の内の穏やかなお天気が続いている今日は稲毛区「六川神社」に初詣に行ってきました。皆様は手水舎で身を清めてから拝殿へ、無事に新年を迎えられた事を感謝し1年の健康を祈願されました。

毎年元旦に訪れるこちらの神社では三が日も過ぎ仕事始めとなった今日は参拝客もなくひっそりとしています。お酒や甘酒を振る舞う人もなく少し寂しいほどでした。車椅子の方は例年参拝客が後ろに列を成している為石段下からのお参りでしたが、今日は4人のスタッフで車いすを上げ、皆様と一緒に参拝する事ができました。小寒とは思えない暖かな陽射しを受けて静まり返った境内に「今年も元気ががんばろぞい」「嗚呼！」とひこうせんの元気な声が響き渡りました。今年も良い1年になります様に。

## ダイソーお買い物ツアー



今日は久しぶりに日用品のほしいものを買いに「ダイソー」まで出かけてきました。「どれでも100円」に驚きながらも安心してほしいものをカゴに入れていきます。造花や花瓶、タオルやハケ、雑巾まで沢山の日用品が揃いました。毛糸がいろいろと編み物談義に花も咲いて

小一時間買い物を楽しまれた皆様、レジの前では少々苦戦がみられスタッフの手助けが必要でした。現在では認知症の方が安心して暮らせる社会づくりの一環として、店舗の入口に「買い物安全マーク」を掲げ、お買い物での困り事を手助けしてくれるサポートがあるお店があるそうです。買い物を通して認知症の方を見守る支援のネットワークが広がっています。ホームに戻った皆様は幾つか買った品物は忘れてしまっていました。が「どら焼き」は覚えていてその後楽しいお茶会が開かれました。

